

【JPA原著論文投稿規定 日本語版(一部省略)】

本投稿規定日本語版は、「原著論文 Original Articles」の投稿規定の主な内容を翻訳して整理したものです。従って、省略されている部分があり、また、翻訳上の誤りが含まれている可能性があります。JPAに投稿される方は、ご自身の責任においてこの日本語版をご利用いただくとともに、投稿の際には、Instruction for Authors (<http://www.jphysiolanthropol.com/authors/instructions/>) を併せて参照頂きますようお願い申し上げます。投稿料については生理人類学会ホームページ (<http://jspa.net/journal/>) を参照してください。

JPA投稿規定 Instruction for authors 原著論文 Original Articles

投稿プロセス Submission process

- 投稿は、代表著者1名によるオンライン投稿とする。著者以外の代理による投稿は認めない。
- 採択が決定した場合には、APC (article-processing charge, 論文投稿料) が科せられる。
- もし、投稿した著者が所属する機関がBMCメンバーシップの会員である場合には、APCはその機関が負担する。会員であるかどうかは、投稿時の情報による自動認識によってのみ判断される。
- オンライン投稿システムで使用するこのできるワープロやグラフィックファイルのフォーマットは、以下を参照のこと。
- 映像、アニメーション、データファイルなどの追加ファイルも、論文の一部として投稿することができる。
- 投稿時にはカバーレターを提出する。カバーレターの目的と内容は以下の通りである。
 - 1) カバーレターは、なぜ本誌に発表するのかということや ‘About *Journal of Physiological Anthropology*’ のページに示された本誌の編集方針に関連した内容について詳しく説明し、また、投稿した論文に関連した利害関係の有無について明言するためのものである。
 - 2) カバーレターは、論文のタイトルページを含む。
 - 3) カバーレターには、著者が推薦する査読候補者の連絡先(電子メールアドレスを含む)を記載することができる。なお、推薦する査読候補者は、過去5年以内のすべての共著者、現在の共同研究者、同じ研究組織のメンバーを除く。

ファイル形式 Format

- 原稿本体では、以下のファイル形式を使用することができる。
 - Microsoft Word (DOC, DOCX)
 - Rich text format (RTF)
 - Portable document format (PDF)
 - TeX/LaTeX (use BioMed Central’s TeX template)
 - DeVis Independent format (DVI)

- 図は、原稿ファイルの一部ではなく、別ファイルとして提出する。

原稿 Preparing main manuscript text

セクションの概要 Overview of manuscript sections for Original Articles

- 次のセクション順に分割して記載する。
 - タイトルページ (Title page)
 - 要約 (Abstract)
 - キーワード (Keywords)
 - 背景 (Background)
 - 方法 (Methods)
 - 結果および考察 (Results and discussion)
 - 結論 (Conclusions)
 - 使用された略語のリスト (List of abbreviations used)
 - 利害関係 (Competing interests)
 - 著者の貢献 (Authors’ contributions)

- 著者の情報 (Authors' information)
- 謝辞 (Acknowledgements)
- 末尾の注意書き (Endnotes)
- 引用文献 (References)
- イラストや図 (Illustrations and figures)
- 表とキャプション (Tables and captions)
- 追加ファイル (Preparing additional files)

タイトルページ Title page

●以下を記載する.

- 論文のタイトル
- 連名を含む全ての著者の氏名, 所属機関と住所, メールアドレス
- コレスポンディングオーサーの氏名

●注意事項

- タイトルには略語を避けること
- 二重盲検方式の査読のため, 原稿ファイルに含めないこと.

アブストラクト Abstract

- 350ワードを超えないようにし, 背景 (Background:研究の状況と目的), 結果 (Results:主な知見), 結論 (Conclusions:短い要約)で構成する. 略語の使用は最小限とし, 文献は引用しない.

キーワード Keywords

- 論文の主な内容を表す 3~10個のキーワードを記す.

背景 Background

- 専門知識がない研究者にも, その研究の背景や研究目的が分かるように記載する. 必要ならばイラストなどを使用しても良い. このセクションの最後には, 論分に掲載されている内容を短い文章で示す.

方法 Methods

- 追試を行うことができるように, 実験デザイン, 使用した材料, 比較内容, 分析法を記述する.

結果および考察 Results and discussion

- 結果と考察は, 同一セクションに結合しても良いし, 別々にしても良い. また, 一つのセクションの中で短い見出しをつけて, いくつかのサブセクションに分割して記載しても良い.

結論 Conclusions

- 研究の中心となる結論を明確に述べ, それらの重要性と関連性を説明する.
- 結論の全体を示すイラストを含んでもよい.

使用された略語のリスト List of abbreviations

- 本文中に略語が使用されている場合, 初回使用時に定義する. 略語リストを提示するときは, 次の利害関係の前に示す.

利害関係 Competing interests

- 著者によるデータの解釈や情報の開示が, 著者と他の人物組織との個人的あるいは金銭的な関係によって影響を受ける可能性がある場合には, 利害関係があると判断される. 著者はいかなる金銭的な利害関係でも開示しなければならない. また, 金銭的でなくても, 論文の出版後に公に周知されることによって何らかの不都合をもたらすような利害関係がある場合には, それも明示しなければならない.
- 利害関係がない場合, 'The author(s) declare that they have no competing interests' と記す.
- 金銭的な利害関係
 - この論文が出版されることによって何らかの金銭的な利害を被る可能性のある組織から, 過去5年間に償還, 謝金, 資金, あるいは給与を受けたか? また, そのような組織は, 論文出版料を含む何らかの資金をこの論文に対して供与したか? もし, そのような事実があれば明記する.

- この論文が出版されることによって何らかの金銭的な利害を被る可能性のある組織の株式を保有しているか？ もし、そうであれば明記する。
- この論文の内容に関係する特許を保有あるいは、現在申請中であるか？ また、この論文の内容に関係する特許を保有していたり、現在申請中の組織から償還、謝金、資金、あるいは給与を受けたりしたか？ もし、そのような事実があれば明記する。
- 上記以外の金銭的な利害関係があれば明記する。

●金銭的ではない利害関係

この論文に関連して、政治的、個人的、宗教的、イデオロギー的、学問的、知識的、営利的などの観点から金銭的ではない利害関係があれば明記する。著者全員について利害関係が該当するのかよく分らない場合には、編集事務局に相談すること。

著者の貢献 Authors' contributions

●共著者の各々に正当な評価を与えることができるよう、一人々の著者の貢献を記載する。

●著者としての資格を得るには、下記に該当する必要がある。

- 1) 研究概念、研究デザイン、データ取得、データ分析、解釈における多大な貢献、
- 2) 原稿の起草、または重要な改訂、
- 3) 論文原稿の最終承認。

●資金調達、データ収集、研究グループ管理のみの貢献では著者として認められない。

●下記のような形式をお勧めする(各著者の頭文字を使用する)。

AB carried out the molecular genetic studies, participated in the sequence alignment and drafted the manuscript. JY carried out the immunoassays. MT participated in the sequence alignment. ES participated in the design of the study and performed the statistical analysis. FG conceived of the study, and participated in its design and coordination and helped to draft the manuscript. All authors read and approved the final manuscript.

●著者としての貢献に該当しない協力者については、謝辞に記す。

●二重盲検方式の査読のため、このセクションはカバーレターに含め、原稿ファイルには含めない。

著者の情報 Author's information

●論文の解釈や著者の研究に対する立ち位置に関する読者の理解を助けるために、著者に関する情報を掲載することができる。著者全員の資格や職位、その他の関連する情報などが含まれる。著者の頭文字を使用して記入する。

●原稿ファイルには含めない。

謝辞 Acknowledgements

●論文に貢献したが、共著者の基準を満たしていない者に対して謝意を示す。

●研究の構想、実験デザイン、データの収集、データの分析・解釈、原稿の執筆と改訂における専門的知識等の提供など、実質的な貢献について記載する。各著者と論文作成に対する研究財源についても記述する。該当する事項があれば、実験デザイン、データの収集・解析・解析、論文の作成・執筆、論文投稿の決定など、各財源の役割(資金の目的)についても記述する。

●謝辞のセクションに記載されているすべての人から謝辞に名前を示すことについて、許可を得る必要がある。

●原稿ファイルには含まれない。

末尾の注意書き Endnotes

●巻末の注意書きは、肩付き小文字を用いて本文中に示す。全ての注意書きは、このセクションにまとめて記すこと。このセクションは、箇条書きではなく、パラグラフとして記述する。

引用文献 Reference

●URLを含んだすべての引用文献は、本文に引用されている順序で、括弧内に連続番号を付ける。

●各文献は、個々の文献番号を持つ。

●自動のナンバリングシステムを使用するときは、投稿時には引用文献番号は確定して、引用文献リストのフォーマットを完成しておくこと。

●未発表の抄録、未発表のデータ、個人的に得た情報は、引用文献リストに含んではいけない。しかし、情報源の研究者の名前を示して“未発表の論評”や“パーソナル・コミュニケーション”として本文中に記載することはできる。個人的な通信や未発表データを引用する許可は筆者が取る。

●ジャーナルの略称は Indexメディカス/ MEDLINEに従う。

- 引用文献リストでは最初から30名までの名前を記載し、それ以上は、et al.を付ける。
- WebリンクやURLは、引用番号を付し本文中ではなく引用文献リストに含め、サイトのタイトルとURLを含む全ての情報を記載すること(例:The Mouse Tumor Biology Database [http://tumor.informatics.jax.org/mtbwi/index.do])。
- Journal of Physiological Anthropologyの引用文献表記の例
(省略)

イラストと図 Preparing illustrations and figures

- イラストは、本文のファイルには埋め込まずに、別ファイルとして提出する。
- 一つの図は一つのイラストとして、一枚の縦位置のフォーマットに一つずつ配置する。もし、一つの図が分割可能ないくつかのパートで構成される場合であっても、全てパートを含む一つのイラストとして提出すること。
- カラー図表の追加料金はかからない。

フォーマット Formats

- ファイル形式は、以下を使用することができる。
 - PDF (線書きの図表に適している)
 - DOCX/DOC
 - PPTX/PPT
 - EPS
 - PNG (写真や画像に適している)
 - TIFF
 - JPEG
 - BMP

図の説明文 Figure legends

- 図のファイルではなく、本文を記した原稿ファイルの最後に記す。
- 各々の図について、図番号:アラビア数字の連番、15ワード以下の図のタイトル、300ワードまでの詳細な説明をつける。
- すでに公表されている図・表を再使用する場合、著者が著作権者から許可を取ること。

表 Preparing tables

- アラビア数字(Table 1, 2, 3, ...)を使用して、順に番号を付ける。
- 全体を要約するタイトルを表の上部に付ける。タイトルは15ワードまでとする。
- タイトルの後に簡潔にまとめられた説明文をつける。
- 表は、番号の順に本文中に引用する。
- 本文と一体化した小さな表は、A4の縦または横のフォーマットで本文の原稿ファイルの最後に置く。これらの表は、最終的な出版時のフォーマットとして作成する必要がある、ファイルを電子的に送信した時にデータ列の配置がずれないように、ワープロの‘Table object’を使用して作成する。データの行と列は、データのセルの領域を黒い線で示すことによって視覚的に区別できるようにすること。
- 数字の末尾にコンマは使用しないこと。
- 色と陰影は使用しない。表の一部を強調したい場合には、シンボルや太字を使用し、その意味を表の説明文に記すこと。
- 横位置のフォーマットに入りきれないような大きなデータのセットは、別の追加ファイルとして投稿することができる。追加ファイルは、最終的な論文のPDFファイルには表示されず、別ファイルとしてリンクが張られる。

追加ファイル Additional files (省略)

スタイルと言語 Style and language

一般 General

- 英語論文のみとし、綴りはアメリカ英語あるいはイギリス英語とし、それらを混合して使用しない。
- 論文の長さに関する制限はないが、できるだけ簡略にすること。

科学的論文執筆に関するアドバイスと支援情報 Help and advice on scientific writing

- 要約abstractは、論文の最も重要な部分である。次のページを参照のこと。

Writing titles and abstracts for scientific articles:

<http://www.biomedcentral.com/authors/abstracts>

- 英語による科学論文の書き方を示した下記のページを参照すると良い。

List of tips; <http://www.biomedcentral.com/authors/report>

American Scientist; <http://www.americanscientist.org/issues/pub/the-science-of-scientific-writing>

BioMed Central author academy; <http://www.biomedcentral.com/authors/authoracademy>

略語 Abbreviations (省略)

組版 Typography

- ダブルスペースとする。
- 行末はそろえないで書く。単語をハイフンで分割して行末をそろえることはしない。
- 見出しと段落の最後においてのみ改行する。
- 大文字はタイトルの最初の単語と固有名詞だけとする。
- 全てのページにページ番号をつける。
- JPAのリファレンスフォーマットを使用する。
- 脚注は使用しない。
- 2段組のフォーマットは使用しない。
- ギリシャ文字などの特別な文字を使用して良い。もし、特別な文字を出力できないときには、その文字の名称を記入すること。特別なキャラクターを使用する場合には、それらがテキストとして組み込まれるものであることを確認すること。テキストとして組み込まれない場合には、PDFファイルでは失われてしまう。
- 遺伝子、変異体、遺伝子型、対立遺伝子はイタリック体で書くこと。タンパク産物は通常の書体で書くこと。

単位 Units

- liter と molar を除いて、SI単位系を使用すること。

Short Reportsの投稿規定: Original Articles と異なる点のみ、以下に示します。

- ①原稿の長さは、1,000～1,500ワードとし、引用文献数は25以下とする。
- ②原稿セクション内の Findings(「原著論文」では「背景」「方法」「結果と考察」「結論」に当たる部分)に研究仮説、方法ならびに結果を含む本文を記載する。サブセクションに分割することができる。
- ③アブストラクトは、250ワード以下とする。